

令和3年度 第14回 児童生徒の平和に関する図画・作文コンクール 図画の部『審査結果の講評』

今年もコロナ禍で十分取り組むことができなかつたのか、学校によっては応募作品が無い学年が多くありました。でも応募した児童生徒の皆さんはコンクールの趣旨をよく理解して、各学年とも発達段階にふさわしい表現をした素晴らしい作品がたくさんありました。

低学年の作品では、笑顔の後ろには花々が丁寧に描き込まれており、色彩や構図のバランスも伝えたいことを表すためによく考えられていて、今にも画面から飛び出してくるようで、人物の満面の笑顔や花や虫たちの楽しそうな様子など表現力豊かな作品が多くありました。

中学年は、全体のバランスや色の組み合わせ等を工夫し、丁寧な絵の具の使い方をした、子供達ならではの柔軟性に富み可能性を秘めた作品があり、表現力豊かな作品や力強い印象の作品が多くありました。また、友達同士で仲良く遊んでいる様子が明るく楽しく表現されている作品も多くありました。

高学年は、優れた描写力で色使いや画面構成もすばらしく、細かな陰影まで丁寧に描かれている作品が多くありました。また、その年齢ならではの感じ方や表現で素直に描かれている作品や、個性豊かな面白い構図や美しい色彩で表現された作品もありました。

中学校は今回も力作が揃いました。描写が細かく力強さが感じられ、平和を願う気持ちが十分伝わる力作で、色使いや画面構成も素晴らしかったです。

中学生は表現方法に工夫があり、画面全体にのびのびと自由に表現していました。

課題としては、小学校の作品で画面の構成が同じなど画一的な作品がありました。また、絵の中に文字が入っているものも多くありました。役場の企画政策課から出されている募集要項には、図画の部では「文字を入れないこと。」とありますので来年は注意してほしいと思います。